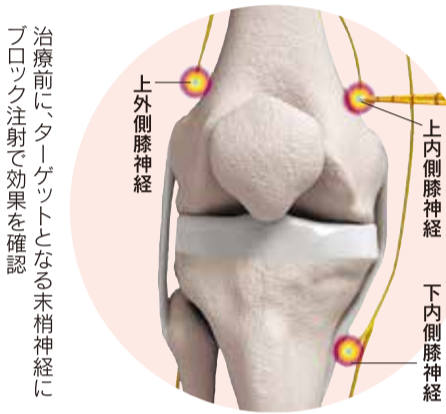


# 整形外科治療に新たな選択肢 ラジオ波用いた変形性膝関節症の 疼痛治療をスタート

成尾整形外科病院(成尾政一郎理事長)は1977(昭和52)年の開院以来、脊椎疾患・関節症の治療において専門性の高い技術と経験を生かし、地域に根差した医療を提供してきました。今年9月から、変形性膝関節症に伴う慢性疼痛治療の新たな選択肢として「末梢神経ラジオ波焼灼療法」を導入するなど、低侵襲で患者さんの体力的負担を軽減しつつ、効果の高い治療を進めています。同院の専門医に、膝や腰の新しい治療法について詳しく聞きました。



超音波エコー下で、3つの膝神経をターゲットに疼痛治療を実施



治療前に、ターゲットとなる末梢神経にブロック注射で効果を確認

### 変形性膝関節症

加齢や体重の増加が原因  
閉経後の女性に多発傾向

膝の痛みで来院される方は、どのよう痛みを訴えられますか。

大半の方は、変形性膝関節症の症状が見られます。膝の内側に違和感や、痛みを覚えるという方が多いです。痛みの感じ方は人それぞれで、レントゲン画像診断を見ると明らかに軟骨が摩耗しているけれど、痛みをあまり感じないという方もいます。

変形性膝関節症の初期には、どのような症状が見られますか。

立ち上がりや歩き始めなど、動き出すときに痛みを感じる人が多く、痛みがない場合もあります。日常生活に大きな支障がないため、やり過ごしている人も多いと思います。症状が進行すると、正座ができなくなる、階段の上り下りが難しくなるなどの症状が見られます。さらに悪化すると、安静にしている痛みが生じ、膝の変形が見られます。厚生労働省によると、現在国内には、無症状ではあるが、潜在的に変形性膝関節症を患っている人が300万人、何らかの痛みを感じている有症状の方が1000万人いるといわれています。

どのようなことが原因で発症しますか。

来院される患者さんの多くは60代以降で、女性の方が圧倒的に多いです。閉経後のホルモンバランスの変化により、骨密度の減少なども起因していると考えられます。また男女共に、加齢による運動量や筋力など、身体的能力が低下するロコモティブシンドローム(運動器症候群)が原因の一つです。

来院される患者さんの多くは60代以降で、女性の方が圧倒的に多いです。閉経後のホルモンバランスの変化により、骨密度の減少なども起因していると考えられます。また男女共に、加齢による運動量や筋力など、身体的能力が低下するロコモティブシンドローム(運動器症候群)が原因の一つです。

## 医療最前線



成尾整形外科病院 関節外科部長  
林田 実氏  
Hayashida Minoru

2002年熊本大学医学部卒業。こども総合療育センター、熊本労災病院、大牟田天徳病院、済生会熊本病院、人吉医療センターなどを経て、2018年4月から勤務。関節、外傷、スポーツ障害などを担当。日本整形外科学会認定整形外科専門医。



鎮痛剤や湿布剤などの保存療法で効果がみられない場合、手術に移行する前の治療として「末梢神経ラジオ波焼灼療法」を検討する

の状態になると、日常生活の中で動かなくなる傾向にあります。その状態が続くことで体重が増加し、膝にも負担がかかる悪循環に陥ります。

### 保存療法と手術療法の中間的治療

変形性膝関節症に有効な新しい治療法があるそうです。

これまでは、鎮痛剤や湿布、ヒアルロン酸などの注射、そしてリハビリでの筋力強化や可動域訓練、装具療法などの保存療法を中心に行っていました。この保存的治療で回復が見られない場合、骨切りや人工関節置換術などの手術を実施していましたが、今回、この保存的治療と手術の中間的治療として注目されているのが「末梢神経ラジオ波焼灼療法」です。この治療法は2023年6月から保険適用となっており、当院でも今年9月から治療を開始しています。

具体的な治療法は、痛みを感じる膝の3つの神経に細い電力針を刺し、ラジオ波を流して熱を発生させ、神経を変性させて痛みをコントロールするものです。治療時間は30分以内。治療の翌日からリハビリを始め、翌日には退院となります。当院で治療した患者さんの1カ月後の評価をしたところですが、治療前の痛みが緩和されるなど、高い治療効果を確認しています。治療時間が短く、体力的負担が少ないことに加え、治療効果が高いため、これまで手術に踏み切れなかった方や内科的合併症で手術が難しかった方にとっても、新しい治療の選択肢となります。痛みを我慢し続ける生活を改善するためにも、気になる症状がある方は専門医にご相談ください。



成尾整形外科病院 脊椎脊髄外科  
牛牧 誉博氏  
Ushimaki Takahiro

### 骨粗しょう症性椎体圧迫骨折

「圧迫骨折」という言葉をよく聞くようになりました。骨粗しょう症が原因で、背骨の椎体と呼ばれる部分が押しつぶされるように変形してしまう状態を指します。尻もちをついたり、重い荷物を持ったり、中には咳をしただけで骨折してしまう人もいます。気付かぬうちに骨折していることから、いつの間にか骨折ともいわれられています。

一症状は、寝返りや寝た状態から起き上がるときに痛みを感じる人が多いようです。しかし、時間がたつと痛みが緩和されることがあるため、治療を先送りしている人が多くみられます。自然治癒しているケースもあります。ただ、上半身を支える重要な部分である椎体がつぶれたまま骨が固まってしまったり、大腿骨や膝など全身のバランスにも影響し、後々の不具合につながることも少なくありません。正確な診断の下、的確な治療を進めることが大切です。

一 体への負担が少ない治療法があると聞きます。

圧迫骨折の治療には、体への負担の少ないBKP(経皮的椎体形成術)が有効です。背骨の手術という、大掛かりな手術を思い浮かべるかもしれませんが、この手術はいわゆる「切る」手術ではありません。背中から椎体に細い管を通し、管の中からバルーンを入れて膨らませ、椎体の形に修復し、バルーンを除去します。手術は30分ほどで終了し、手術翌日からリハビリを開始。経過を見ながら1〜2週間で退院できます。

一 8月に着任されましたが、今後の抱負をお聞かせください。

熊本は初めての仕事ですが、明るく働きやすい職場だと感じています。今後は、一人でも多くの患者さまから手術の不安を取り除き、一日でも早く日常生活に戻るお手伝いができるよう力を注いでいきます。

## 成尾整形外科病院

NARUO ORTHOPEDIC HOSPITAL

理事長 成尾 政一郎  
院長 藤本 徹

成尾整形外科病院 検索

【診療科目】 ◎整形外科 ◎リハビリテーション科 ◎リウマチ科 ◎内科 ◎麻酔科(中野伸彦)

【診療日】 月曜日～土曜日 ※土曜日は午前だけの診療です。

【診療時間】 平日/ 9:00～12:30、14:00～17:30 土曜日/ 9:00～12:30

※整形外科の診療は午前のみです。  
※外来受診は予約制となります。事前にお電話にてご予約をお願いいたします。

【休診日】 日曜日、祝日、土曜日午後、年末年始

〒862-0958 熊本市中央区岡田町12-24(白山通り)  
TEL 096-371-1188(代表)